

神戸市西区で栽培したさつまいもを使って 干し芋、石焼き芋等を製造販売



中井農園の中井亮介さん。看板は初代看板犬のバグ（名前「との」）を基にデザイン

◆令和5年には、さつまいも畑で芋堀りと食事を楽しみながらのんびり過ごせるイベント「oimoland」を開催。知人が経営するカフェやお菓子屋等が多数出店した。3日間の開催で1000人程度の来客があり、とても盛況だった。

◆令和6年度から親子を対象とした「親子体験さつまいもの学校」を実施。さつまいも作りのお話のほか、植え付け、収穫、焼き芋作りと様々な体験ができる。

◆加工品を製造し商品のバリエーションを持たせたことで、中井農園の事を知ってもらえる機会が増えたと感じている。経営も安定したため、6次産業化に取り組んでよかったと思っている。



（左）ほくほくの「石焼き芋」、（右）ねっとり甘い「焼き芋の干し芋」（画像提供：oimo stand）



き っ か け

◆中井農園のさつまいもの美味しさを広め、たくさんの方に食べてもらいたいと考えたことから、兵庫楽農生活センター内に「oimo stand」をオープンし、さつまいもを使った加工品の製造販売を開始した。

取 組 内 容

◆さつまいもは、主に「紅はるか」を栽培している。自ら栽培したさつまいもを使用して石焼き芋、干し芋等を製造し、oimo standやイベントで販売。自家栽培のいちごやさつまいもを使用したジェラートの販売も通年で行っている。干し芋は、道の駅やスーパー等でも販売している。

◆oimo standの人気No.1は干し芋。通常とは異なり、焼き芋を干し芋にすることで、「紅はるか」のねっとりさと香ばしさが引き立つ。

oimo stand（中井農園）



◆所在地

兵庫県神戸市

◆お話を伺った方

中井 亮介

◆取組内容

- ・さつまいもやいちご等の栽培
- ・さつまいもを使った干し芋等の製造販売
- ・親子を対象としたさつまいもの栽培体験を実施



イベント「oimoland」の様子
（画像提供:oimo stand）

今 後 の 展 望

◆中井農園のさつまいもをブランド化し、価値を上げていきたい。

◆さつまいもクッキーを詰め合わせたクッキー缶を商品化したい。



oimoのバスクチーズケーキ
（画像提供：oimo stand）

2024年7月2日調査